

研究課題名： 2019-新型コロナウイルス(2019-nCoV)感染症対策に資する開発研究

所属(診療科等)： 公立昭和病院 小児科

研究責任者(職名)： 大場 邦弘 (医長)

研究期間： 2020年8月18日～2022年3月31日

研究目的と意義： 新型コロナウイルス感染症は、世界的に大きな問題になっています。この感染症のリスクを正しく理解するためには、ウイルスの特徴や病原性を詳しく調べたり、簡便で迅速性の高い検査系を開発することが必要不可欠です。そこで、新型コロナウイルス感染症を疑われる患者さんから検査のために採取した検体の残りを使って検査系の開発を進めるとともにウイルスの特徴と病原性を調べることにより、新型コロナウイルス感染症対策に直接的につながることを期待され、社会的意義は非常に大きいと考えられます。

研究内容： ●対象となる患者さん  
2020年1月から2022年3月31日の間に、当院で新型コロナウイルス感染症が疑われ検査を行った患者さんを対象とする。

●利用するカルテ情報  
診断名、身体所見、検査結果、診療についての記録等

●研究方法  
新型コロナウイルス検査のために国立感染症研究所に提供された検体の残余および情報により、後ろ向きに検討を行う。

●利用する研究機関の範囲  
公立昭和病院、国立感染症研究所

問い合わせ先： 【研究担当者】  
氏名：大場 邦弘 (小児科医師)  
住所：小平市花小金井8丁目1番1号  
電話：042(461)0052 (代表) FAX：042(464)7912  
【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く)  
総務課 042(461)0052 内線2247  
受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)